

# 明治大学文学部 第8回読書感想文コンクール

あなたの感動を、率直平明な言葉でお書き下さい。

## ◇募集要項

応募資格 高校生および社会人

応募内容 課題図書から1冊を選び、1,200字以内で読書感想文を書いてください。  
応募は未発表の原稿で、1人につき1点にかぎります。

応募形式 応募用紙(表紙)は文学部ホームページよりダウンロードしてください。  
本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。  
原稿用紙の1ページ1行目から本文を書き、氏名、タイトルは記入しないでください。応募作品は返却しません。ご記入いただいた個人情報は、本賞選考以外には許可無く使用いたしません。

優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門合わせて)。  
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。選考結果は10月初旬、受賞者に郵送し、文学部ホームページに発表します。優秀者全員の感想文は、作品集「読むことの歓び」として単行本になります。作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

## 課題図書 (五十音順)

1. 『大人になることのむずかしさ』 河合隼雄 著  
子どもから大人への移行時に生じる様々な悩み直面する若者に対し、臨床心理学者である著者がやさしく寄り添いエールを送る。
2. 『家族という病』 下重暁子 著  
「家族」は今日もとてもビビッドな問題である。家庭内暴力、幼児虐待…。父と母の社会役割はもはや神話。理想の家族とは？
3. 『荒野のおおかみ』 ヘルマン・ヘッセ 著  
作者ヘッセ自身を彷彿させる主人公が苦悩の裡に模索する道とは、そして個人的苦悩を超越した先にある世界とは？
4. 『コルチャック先生』 近藤二郎 著  
「子どもの権利条約の精神的な父」とユニセフが讃えるコルチャック。医師、作家、そして教師として子どもたちに注いだ限りなき愛。
5. 『失敗学のすすめ』 畑村洋太郎 著  
誰でも、どんな組織でも、必ず何かしら失敗する。その失敗を肯定的に捉えることで、成長・発展への途が拓かれるのである。
6. 『セールスマンの死』 アーサー・ミラー 著  
高校生には父の世代の、社会人にも自分の父や自らの生活や生き方への様々な感情を実感的に甦らせる。小説のように読める戯曲。
7. 『となり町戦争』 三崎亜紀 著  
誰が何のために。となり町との開戦を地元の広報誌で知った僕の日常に、静かにしみ込んでくる戦争。通り一遍の戦争観を揺らす小説。
8. 『博士の愛した数式』 小川洋子 著  
80分間しか記憶がもたない数学博士と、その生活に寄り添う親子との間に流れる静かで穏やかな時間が、丁寧に綴られている。
9. 『八十日間世界一周』 ジュール・ヴェルヌ 作  
今では世界一周は二・三日ほどで可能であるが、冒険や発見に乏しい。本書は船や列車や馬車による心躍る旅が生き生きと描き出されている。
10. 『武器よさらば』 アーネスト・ヘミングウェイ 著  
戦争とは。愛とは。みずから戦場を志願した主人公だったが、愛する人と出会い、戦争の邪悪さに目をひらかれてゆく。

締 切 2016年 8月 5日(金) 消印有効

表 彰 式 2016年 11月19日(土)  
於 明治大学駿河台キャンパス  
(受賞者にはご案内状を送付いたします。)

応募及び  
お問合せ 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学文学部読書感想文コンクール選考委員会  
電話 03-3296-4189



受賞作品が1冊の本になります



詳しくは文学部ホームページをご覧ください。  
<http://www.meiji.ac.jp/bungaku/>